

Q

退職後、傷病手当金を受給できなかったのはなぜですか？

40代のCさんは、ある企業で3年間正社員として働いていました。ここ半年程、治療のために休職をし、その間傷病手当金を受給していましたが、体調が思わしくないため退職を決意しました。傷病手当金を在職中に受給していれば、退職後も継続して受給できることをCさんは知っていました。退職日当日、仕事の引き継ぎと退職の手続きのために会社に出勤し、会社もその日の給与を支払いました。

その後、全国健康保険協会（協会けんぽ）に傷病手当金の支給申請をすると、傷病手当金が受給できなくなっていました。「なぜ受給できないのでしょうか？」と相談にこられました。

A

退職後の支給要件を満たせなかったため、不支給となりました

〈受給していたにもかかわらず、退職後の継続受給が受けられなかったケース〉

傷病手当金は、(a)資格を喪失する日の前日までに継続して1年以上被保険者であった人は、(b)資格を喪失した際に(c)現に受けていた傷病手当金を引き続き受けることができます。Cさんのケースでいうと、(a)はクリアしていました。(b)の「資格を喪失した際に」は「退職日当日に」ということです。(c)の「現に受けていた」は「受給していた、もしくは受給できる状況であったかどうか」ということになります。Cさんは、退職日当日に引き継ぎという仕事をして働いてしまい、給与も支払われていましたので、要件を満たすことができなかったのです。

Point

健康保険の支給要件は、とても形式的かつ厳密です。一見、会社員として何も問題のない行為にもかかわらず、思わぬ落とし穴があるのです。単に知らなかった、あるいは誤解していた場合であっても、要件を満たしていなかったのであれば、不支給決定を覆すことは不可能です。

「事前の確認」をしっかりと！このケースのような場合は、協会けんぽや健康保険組合などに直接確認するのがよいでしょう。

あきらめないで！

02

応募書類をどう書き、面接でどこまで話すか

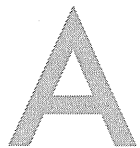
サポートグループや個別相談において、とても多い悩みが「再就職先が
んのことをどこまで言えばいいのか？」ということです。がん診断後の就職
活動での応募書類、面接での事例を見ていきましょう。



履歴書の「健康状態」の欄にはどのように書けばよいですか？

応募書類編

Dさんは、電気関係の専門職として転職活動をしていました。求人数は売り手市場とは言わないまでもそれなりにあったので不安はありませんでした。ただし、いざ履歴書を書こうと思ったら、応募書類が指定されており、「健康状態」を記載する欄が設けられていました。会社側に問い合わせをしたところ、専門の業界ということで所定の履歴書で提出するようにと言われてしまいました。どうしたらよいでしょうか？



必ずしも病名を書く必要はありません

多様な形式の履歴書があるので自分が書きやすい項目のものを使いましょう。業界の特徴や慣習などを聞いて、どのように書くのが望ましい

かを考えます。

あくまでも「健康状態」なので、既往歴や病名を書く必要はありません。会社は、新たな人材を雇用する際、その人は業務に耐えうる健康状態にあるのかという情報が必要です。

これは、どのような業界かに関わらず、全ての企業に共通して言えることです。このことを伝えるのはとても大切なことです。

次に、健康に関する配慮事項、つまり、日々の仕事をする上で支障になることや、会社に配慮して欲しいことがあれば、書いた方がよいです。Dさんは、月1回の通院があったので、そのことを伝えたいということでした。ただし、大切なのは、月1回の通院を除いては業務に支障になることは全くないことをしっかり伝えることです。

結果、Dさんは、健康状態欄に「持病により月1回の通院が必要ですが、業務に問題はありませぬ」という内容を記載し、応募書類を送りましたが、面接で病名を聞かれた場合は、きちんと伝える心づもりもできていましたが、結果的には特に問題なく採用となりました。

Point

応募書類は、面接さらには採用につなげるためのツールです。相手に伝えたいこと（伝えるべきこと）を誤解なく伝えることが大切なのです。また、マイナスな表現を避けてネガティブな情報という印象を必要以上に持たれないようにする工夫も必要です。

Q 面接で、がんのことをどのように話せばよいですか？

面接編

2年前にがんの診断を受けた20代のEさんは、いま、転職活動をしています。就職活動をする中で心配なのは面接のときの対応です。

「面接のときに、病気のことを言ったほうが良いのかどうか？ まだ経過観察中で治ったわけではないし、どう答えたらよいのでしょうか？」と相談にやってきました。

また、治療中は仕事をしていなかったため履歴書の中にはキャリアブランクもあり、この空白の期間のことを聞かれたとき、素直に「病気の治療中でした」と言ってしまって良いのかどうかわかりません。何かアドバイスをください。

A まずは、志望動機や自己PRを相手にきちんと伝えましょう

転職活動をしているときにおこる悩みは、病気のことを言ったら採用してもらえないのではないか、ということです。確かに「がん経験者である」「がんの治療中である」ということで不採用通知を送ってくる会社があるのは事実です。だったら、言わないほうが賢明だという考え方もありますし、言わないことに後ろめたさを感じてしまう方もいます。どのように伝えるかに対して、「これが正しい」という正解はありません。

採用面接の場合、「面接官は、今初めて会ったあなたの何が一番知りたいのか」ということを考えなければなりません。会社は、あなたがどんな能力やスキルを持っていて、どんな貢献をしてくれるのかに一番興味

があります。まず、そのことを伝えるのが面接なのです。他の応募者と同様、まずは志望動機や自己PRをきちんと伝えます。

キャリアブランクについて質問されたときは、伝え方を工夫する必要があります。単にマイナスのアクシデントとしてではなく、自己PRにつながるようなプラスのイベントとして伝えられるとよいでしょう。例えば、その間に学んだこと、乗り越えたこと、身に付けたことなどです。「がん

Point

「がんのことをまず伝えなければ！」と考えがちです。

それよりもまず、あなたが企業にどのような貢献ができるのかを伝えましょう。

03

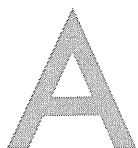
病気を理由に雇用契約の延長がされなかった例

(派遣社員・パート)



会社から治るまで休んでほしいと言われ、納得できません

30代の派遣契約で働く女性のFさん。契約延長の時期を2ヶ月後に控えたところで、がんの診断を受けました。主治医の説明では術前に化学療法を行い、月に2～3回程度の通院が必要とのこと。これを派遣先と派遣元の企業へ伝えたところ、病気が治るまで休んで欲しいと言われました。一人暮らしなので、働かなければ治療費も支払えませんし、家賃なども心配です。また、まだ契約期間も残っており、次の契約更新で評価されれば正社員にと派遣先の人事からも言われていたので、このような対応に納得がいきません。どうしたらよいのでしょうか？



定められた労働条件で勤務できそうであれば派遣元に相談しましょう

Fさんは、派遣元と派遣先の企業に対し、どのようなことを求めることができるのでしょうか。

まず、Fさんのような「派遣」という働き方について確認しておきましょう。派遣労働とは、派遣元企業（派遣元）と雇用契約を結んだ派遣社員が、派遣先企業（派遣先）において仕事をするというものです。

派遣は、そもそも専門的かつ臨時的な働き方として設けられたもの（現実はそのようになってはいますが）なので、多くの場合は、3ヶ月から6ヶ月の短期間契約を更新しているのが現状です。そのため、就労状況に問題が生じたときは、更新せずに契約を終了することがあります。つまり、病気や怪我によって、派遣元との雇用契約に沿って、派遣先からの指揮命令に従った内容の勤務ができないことを理由に、更新しない（雇止め）、あるいは契約期間の途中で終了（解雇）することは可能なのです。

しかしながら、定められた労働条件の範囲内で勤務が継続できそうな場合は、派遣元に相談した上で、派遣先への理解を求めていくこともできると考えます。Fさんのように、月2～3回程度の通院を有給休暇等でカバーして勤務を継続できる可能性があり、本人も働き続けることを強く希望している場合は、派遣元と十分話し合った上で、派遣先にも理解を得られるように働きかけていくことも大切なことです。

Point

派遣の場合、正社員に比べて就労継続に不利な要素は多いのが現状です。

派遣社員の方は、人材派遣健康保険組合（通称「はけんけんぽ」）に加入されているケースが多いです。はけんけんぽにも傷病手当金がありますので、派遣元に問い合わせてみましょう。

Q

辞めてほしいと言われましたが、仕方ないでしょうか？

40代でパート社員としてサービス業に就いていたGさん。突然の不正出血で入院。調べてみたところ、がんであることがわかりました。

主治医からは検査、手術などを含めて2ヶ月程度の入院期間になると説明を受けました。

パート先に連絡をしたところ、2ヶ月で復職できるのなら良いとのこと。退院をしてもすぐには働けないと思ったので、そのまま伝えたところ「辞めてほしい」と言われました。パートなら仕方ないことでしょうか？

A

一旦、治療に専念して、再就職することも考えましょう

パートやアルバイトといった働き方は、業種にもよりますが多くの会社では、臨時従業員という考え方をしています。定年制のある正社員とは違い、長期間の雇用を想定していないので、私傷病による休職制度を適用していない企業が大多数です。

Gさんの勤務先では、パート社員に対して2ヶ月間の休職を適用しようとした点で、逆に珍しいケースであるかもしれません。ただし、会社としては、Gさん側の事情によって休職期間を延長することができなかったため退職に至ったものです。

企業側も心情としては続けさせてあげたいと思っても、雇用形態や適用される社内制度、経営状況など多様な要因によって、退職を余儀なくされるケースは現に存在します。それを「仕方ない」と言ってしまうと

それまでですが、一旦治療に専念して、落ち着いたところで再就職をするということも考えてみましょう。それが、大黒柱というよりも家計の補佐的な役割を担っているパートという働き方のメリットでもあります。

Point

企業によって、パート従業員の位置付けは大きく異なります。

家庭での役割も含めて、治療と仕事のバランスを考えてみましょう。

04

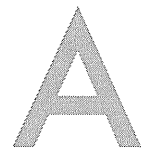
明らかに不当な例



病気が理由で会社から不当な扱いを受けています。どうしたらよいですか？

正社員として広告会社で働くHさん。この会社に勤務し始めて6年目に突然がんの診断を受けました。手術と化学療法をしていた約半年間、会社を休職しました。

休職期間が終了し、入社してみると机周りにあった私物を勝手に棄てられていました。さらに上司から「病気の人間には仕事は任せられない」と言われました。そうかと言って仕事は山積みなので、休職前と変わらないどころか、残業の毎日です。しかもそんな状況にもかかわらず、復職から3ヶ月も経ってから、いきなり給与が減額されました。何の説明もありません。また、上司からのパワーハラスメント（以下、パワハラ）もエスカレートする一方で精神的にも辛いです。どうしたらよいでしょうか。



話し合いによる改善が望めない場合は、専門家に相談を

給与は、働く人々にとって重要な労働条件であり、会社が一方的にその内容を変更することはできません。労働条件を変更する場合には、Hさんの同意が必要です。このケースでは、会社から何ら説明なく、Hさんの同意がないまま給与を減額しており、違法な行為と言えます。また、

上司からのパワハラもあり、Hさんが仕事を続けていくためには、処遇を改善していかなければなりません。

Hさんは、上司に給与減額の理由を書面でもらえるようお願いしました。しかし、いつまで経っても回答はもらえず、話し合おうにもパワハラが恐くて言い出せません。そこで、Hさんは、社会保険労務士（以下、社労士）に相談をしました。社労士は、総合労働相談コーナー※に相談して、会社に対し、行政による助言・指導をしてもらってはどうか、それで解決しなければ、あっせんを行なってはどうかと提案しました。

その後、助言・指導では解決せず、あっせんにより会社と和解し、解決にいたりました。最終的には、会社や上司との関係修復が不可能であると判断し、退職という道を選びましたが、Hさんは納得して新しい道を歩き始めています。

※総合労働相談コーナーは各都道府県労働局に設置されています。
<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/chihou/kaiketu/soudan.html>

Point

会社は、病気の従業員を辞めさせるために不当な減給やパワハラなどの嫌がらせをすることがあります。

その場合、もはや当事者の話し合いでは解決ができません。自己の権利を守るためには、労働問題の専門家である社労士や弁護士に相談することが大切です。

Working
Survivor's
Note

08

Cancer Survivorship

平成24年度厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業 (H24-がん臨床-一般-012)
「がんサバイバーシップ 治療と職業生活の両立に向けたがん拠点病院における介入モデルの検討と医療経済などをういた
アウトカム評価 ～働き盛りのがん対策の一助として～」
(研究代表者：山内英子・聖路加国際病院)

〈問い合わせ先〉
〒104-8560 東京都中央区明石町9-1 聖路加国際病院 乳腺外科 担当：佐谷 E-mail：breastcenter@luke.or.jp

発行：2013年3月3日

ワーキングシート

働き続けるためのサポートツール

Working
Survivor's
Note

08

Cancer Survivorship

β版

働くあなたへ

—がんと診断されたときに—

聖路加国際病院 乳腺外科部長 プレストセンター長 山内英子

がんと診断されて、今、頭がいっぱいで、何から手をつけたらいいかわからないというのが本当のところかもしれません。これからの治療はどうなるのか、いったい自分のいのちはどうなるのか、仕事は続けられるのか、家族はどうなっていくのか、さまざまな思いが頭のなかをめぐっていらっしやると思います。

一つずつ、時間をかけて、ゆっくりとそのからんだ糸をほどいてゆけばいいのでしょう。大切なことは、その1本1本を決して簡単に切ってしまうことではありません。からんだ部分は、今は、ほどけなくても、そのままでもいいのです。いつかはほどけるでしょうし、ほどけなくて、切らなければいけない時が来るかもしれません。でも、今はまだその時でないかもしれません。がんと診断されたときの仕事に対する考え方はそんな風でいいと思います。

診断を受けて、自分のなかの何かが抜けおちていく感じを経験されている方もいるかもしれません。でも、自分のなかの「大切なもの」が取られてしまったわけではないのです。

「大切なもの」が何かをあらためてもう一度考えるため、あなたに「診断」というかたちの機会が与えられたのかもしれません。自分の中の大切なものがゆっくりと見えてくることもあるのです。その中で、自分における仕事の意義が後で変わってきたりすることもあります。でも今は、その答えを出さなくていいのです。

このファイルにしたがって、できることから行なっていきましょう。自分が今、とりあえずすべきことを一つずつこなしながら、一歩ずつ、進んでいきましょう。

あらゆることを一人で解決しようとする必要はありません。家族や、友人、職場の仲間たち、そして医療関係者にサポートを求めていけばよいのです。覚えていてください。あなたは一人ではないのです。

あなただけのファイルを作ってみましょう

働く患者さんの多くは治療と職業生活の両立をどうしようか…と悩まれるはずですが、その答えはあなたの心の中にあります。

あなたには、これまでの人生で培ってきた力があります。その力を発揮するためのお手伝いをするためにこのファイルはあります。全部持ち歩いても構いませんし、必要な部分を取り出し、他の資料と一緒にファイリングをしても構いません。

人生の主役はあなた自身。あなただけのオリジナルファイルをつくってみましょう。

ここでは、診断直後から治療の各段階で確認すべき質問や、あなたの働く権利や休める権利などを整理するのに便利なシートもあります。コピーなどをして活用してください。

Part 1

がんと仕事の両立について 主治医に確認すべき5つのポイント

1. 治療中も働くことはできますか？
2. 今までどおり働いてもいいのでしょうか？
3. 何か制限はありますか？
4. 他の治療方法はありますか？
5. 治療に伴う副作用はどう対処すればいいのでしょうか？

Part 2

がんと仕事の両立について あなた自身が考えるべき5つのポイント

1. 今後の治療はあなたの仕事のスケジュールに影響を与えますか？
2. あなたにとって仕事は経済的・精神的にどのくらい大切ですか？
3. 働き方をフレキシブルに変更できますか？
周囲にそのような働き方をしている人はいますか？
4. 仕事を続けるために、今の仕事を見直すべきですか？
5. あなたの働く権利・休む権利を知っていますか？

(追加で考えること)

- ・治療中も働き続けたいですか？
- ・容姿の変化は仕事に影響がありますか？対応できる手段はありますか？
- ・時短制度やパートタイムなど働き方の一時的な変更はできますか？
元のポジションには戻れますか？
- ・もし仕事を辞めたら経済的にどうなりますか？
- ・もし仕事を辞めたら社会保障制度がどう変わりますか？

Part 3

雇用主に確認すべき 5つのポイント

1. パートタイムなど働き方の一時的な変更はできますか？
また、治療後はもとのポジションに戻せますか？
2. 時短制度などは使えますか？
3. 在宅勤務はできますか？
4. 会社独自の私傷病休暇制度はありますか？
5. 休憩室や医務室は利用できますか？

Part 4

化学療法について 確認すべきポイント

- ・どんな薬を使い、どんな副作用が予測されますか？
- ・治療の進め方や治療までの流れ（受診）、時間、費用を具体的におしえてください。
- ・治療のスケジュールを仕事のスケジュールに合わせることは可能ですか？
- ・治療ができる時間は何時から何時ですか？
- ・治療ができる曜日はいつですか？ 他の曜日は選べますか？
- ・治療の頻度と治療期間は？
- ・受付から治療が完了するまでどのくらい時間がかかりますか？
- ・治療には付き添いが必要ですか？ 入院は必要ですか？
- ・副作用にはどう対処すべきでしょうか？
- ・副作用がもたらす仕事への影響は？
- ・副作用が起きている期間はいつからいつまでですか？
- ・治療中、注意することはありますか？
- ・治療後に仕事に戻ることは可能ですか？
- ・メモを頂くことは可能ですか？

Part 5

放射線療法について 確認すべきポイント

- ・放射線治療の効果について教えてくださいか？
- ・いつ、どこで治療を受けたら良いですか？
- ・治療は何回必要ですか？
- ・治療の進め方と治療にかかる時間、費用は？
- ・受付から治療が完了するまでどのくらいかかりますか？
- ・副作用はどんなものが予測されますか？
- ・仕事への影響はありますか？
- ・治療中、注意すべきことはありますか？
- ・放射線治療中でも仕事は続けられますか？
- ・放射線治療のスケジュール、通院の時間帯を仕事に合わせることは可能
ですか？

Part 6

手術の前に 確認すべきポイント

- ・どのくらいの期間、入院が必要ですか？
- ・回復までにどのくらいかかりますか？
- ・仕事は休まなければなりませんか？ そうであれば何日くらいでしょうか？
- ・外部との連絡が全くとれない状態はどの期間になりますか？
- ・元の生活に戻るまでにはどのくらい時間がかかりますか？
- ・職場に提出する必要書類は準備していただけますか？
また、手続きや費用はどこで聞けば良いですか？
- ・手術の後のケアのための通院はどの程度続きますか？
- ・できなくなる、しづらくなることはありますか？

●治療に関する状況

- ・担当医師：
- ・所属・連絡先：
- ・既往症：
- ・現病歴

<経過等>

<これまでに受けた治療>

手術 化学療法 放射線療法 ホルモン療法
その他 ()

●治療経過・現在の治療状況

<現在の状況>

入院治療中：入院期間 () 日 (予定を含む)
外来治療中
定期的な検査入院中：週 () 回
その他 ()

<現在の治療内容>

手術 化学療法 放射線療法 ホルモン療法
その他 ()

●今後の治療方針スケジュール

●療養上、就労上の留意点

日常生活上：

就労上：

●関係者への伝達・要望事項

企業：

その他：

●自分の気持ち

あなたが勤務している会社の社内制度について確認してみましょう。
 まず、以下の書類を手元に用意しましょう。
 会社の人事担当の方に協力を求めているのもよいでしょう。

就業規則 雇用契約書 労働条件通知書

(1) 契約期間

期間の定めなし
期間の定めあり (年 月 日 ~ 年 月 日)

(2) 契約更新の有無(「期間の定めあり」の場合)

自動的に更新する 更新する場合があります 契約更新はしない

(3) 労働時間

始業時刻 (時 分) 終業時刻 (時 分) 休憩時間 () 分

フレックスタイム制 交替制やその他特殊な労働時間制による

(4) 所定休日

定例日：毎週 () 曜日、国民の祝日、その他 ()
 非定例日：週・月当たり () 日、その他 ()

(5) 休暇

年次有給休暇：現在の残日数 () 日、次回 () 月 () 日に () 日付与
半日休暇：年間の取得限度 () 日まで
時間単位有給休暇：年間の取得限度 () 日まで
積立休暇(未消化分の年次有給休暇を積み立てて、傷病に利用できる制度)：() 日
 現在の残日数 () 日
 ※他の休暇(年次有給休暇など)との優先順位について
 ()

傷病休暇：() 日 現在の残日数 () 日
 休暇中の給与の支給 (有 () % ・ 無)

休職制度：期間 () か月/年 残り () か月/年
 休職中の給与の支給 (有 () % ・ 無)

その他の休暇
 ()

(6) その他

短時間勤務制度：1日 () 時間 利用可否 (できる ・ できない)
時差出勤制度：利用可否 (できる ・ できない)
在宅勤務制度：利用可否 (できる ・ できない)
時間外労働の制限 (あり ・ なし)

〈私の生活日記帳〉

記入例を参考に、一日の活動を下の欄に記録し、「達成感」、「楽しさ」、「疲労度」に○をつけましょう。気づいた事があればメモを残しましょう。

記入例	月 日	月 日	月 日
5:00			
6:00			
7:00 起床			
8:00 朝食			
9:00 出勤			
10:00			
11:00			
12:00 昼食			
13:00			
14:00			
15:00			
16:00			
17:00 終業			
18:00			
19:00 帰宅			
20:00 夕食			
21:00			
22:00			
23:00 就寝			
24:00			
1:00			
2:00			
3:00			
4:00			
達成感 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 楽しさ <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 疲労度 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【MEMO】	達成感 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 楽しさ <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 疲労度 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【MEMO】	達成感 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 楽しさ <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 疲労度 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【MEMO】	達成感 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 楽しさ <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 疲労度 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【MEMO】

※足りない分はコピーをとってください。

〈私の生活日記帳〉

月 日	月 日	月 日	月 日
5:00			
6:00			
7:00			
8:00			
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00			
14:00			
15:00			
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			
21:00			
22:00			
23:00			
24:00			
1:00			
2:00			
3:00			
4:00			
達成感 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 楽しさ <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 疲労度 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【MEMO】	達成感 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 楽しさ <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 疲労度 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【MEMO】	達成感 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 楽しさ <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 疲労度 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【MEMO】	達成感 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 楽しさ <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 疲労度 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 【MEMO】

IV 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Sumitani M, Miyachi S, Mas himo T, Yo shikawa M, Matsumoto Y, Yamada Y.	The mirror neuron system and possible implications for chronic pain management focusing on “sensori motor integration” and “affective-emotional” perspectives.	Columbus AM.	Advances in Psychology Research 89	Nova press	USA	2012	131-44

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sumitani M	The Guidelines for Awake Craniotomy. Guidelines Committee* of The Japan Awake Surgery Conference (*committeeの一員として参加)	Neurologia medico-chirurgica	52(3)	119-41	2012
Uchida K, Yasunaga H, Miyata H, Sumitani M, Horiguchi H, Matsuda S, Yamada Y.	Impact of Remifentanyl Use on Early Postoperative Outcomes Following Brain Tumor Resection or Rectal Cancer Surgery.	J Anesth	26(5)	711-20	2012
Jacquin-Courtois S, Legrain V, Sumitani M, Miyauchi S, Rossetti Y.	Visuo-motor adaptation and bodily representations: From neglect to complex regional pain syndrome.	Lett. Med. Phys. Readapt	28	93-8	2012
Yozu A, Haga N, Tojima M, Zhang Y, Sumitani M, Otake Y.	Vertical peak ground force in human infant crawling.	Gait and Posture	37(2)	293-5	2012
住谷昌彦, 東賢志, 山内英子, 山田芳嗣	がん性疼痛と非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬についての考え方の違い	ペインクリニック	Vol. 33 別冊秋号	S261-9	2012
住谷昌彦, 山田芳嗣	QOLを考えた神経障害性疼痛の治療におけるトラマドールとプレガバリンの位置付け	臨床麻酔 「臨時増刊号」	36	s389-98	2012
松岡順治	診断時からの緩和医療-外科医の立場から-	がん患者と対症療法	出版予定	出版予定	2013

V 研究班員名簿

研究班員名簿

区分	名前	所属
研究代表者	山内 英子	聖路加国際病院 乳腺外科
研究分担者	保坂 隆	聖路加国際病院 精神腫瘍科
	中村 清吾	昭和大学医学部 乳腺外科
	福田 敬	国立保健医療科学院 研究情報支援センター
	松岡 順治	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 緩和医療学
	齊藤 光江	順天堂大学医学部附属順天堂医院 乳腺内分泌外科
	住谷 昌彦	東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター
	小松 浩子	慶應義塾大学 看護医療学部
	高山 智子	独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター
研究協力者	岩田多加子	聖路加国際病院 看護部
	尹 玲花	聖路加国際病院 乳腺外科
	大川 恵	聖路加国際病院 看護部
	大坂和可子	聖路加看護大学大学院
	神田 美佳	聖路加国際病院 医療相談・連携支援センター
	北野 敦子	聖路加国際病院 乳腺外科
	小郷 祐子	独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター
	中尾真由美	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科
	中山可奈子	聖路加国際病院 乳腺外科
	名取亜希奈	聖路加国際病院 腫瘍内科
	橋本久美子	聖路加国際病院 医療相談・連携支援センター
	平松 利麻	トラヴェシア社会保険労務士事務所
	牧 祥子	聖路加国際病院 医療相談・連携支援センター
	矢ヶ崎 香	慶應義塾大学 看護医療学部
八巻知香子	独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター	

